

～学習コーナー～

今年度は基本的学習態度の育成として、「正しい姿勢」と「鉛筆の正しいもち方」について重点的に指導してきました。その成果と課題についてお知らせします。

(1) 正しい姿勢

正しい姿勢を意識させるために、授業のはじめに立腰指導（立ち座⇒キャットレッチ⇒引き座）を取り入れたことは9月号でお知らせした通りです。実際に、毎時間立腰指導を実施することは全校で徹底できませんでした。

そこで、3学期より、日直の号令かけを「起立⇒お願いします⇒**立腰**」とすることにしました。それによって、立腰を実施するクラスが増えました。腰骨を立てたよい姿勢で授業がスタートできるようになりました。その姿勢が持続できることが課題です。

今、6年生が卒業式の練習を行う際、「立腰」と声をかけ、腰骨を立てて座ること・胸を張って卒業証書をいただくことに取り組んでいます。

卒業生の保護者の皆様は、卒業式本番の卒業生の姿をどうぞ楽しみにしてください。

(2) 鉛筆の正しい持ち方

2月から子どもたち一人一人に鉛筆ホルダーを装着させて、正しい持ち方ができるよう支援しました。

結論から言いますと、「長年持ち慣れた持ち方をすぐに修正することは難しい。」ということですが。

一般的におかしな持ち方としては、親指が前に出過ぎること、鉛筆が前に倒れていることなどがあげられます。

ただし、鉛筆の正しい持ち方を意識させることには効果が見られたので、これからも長い目で根気よく指導していきたいと思えます。



〔立腰を意識した卒業証書授与の練習風景〕